

氏名	田村佳士枝	部署	看護学科	職名	准教授
研究分野	小児看護学				
学位	修士（看護学）				
学歴	1987年聖路加看護大学看護学科 2003年聖路加看護大学修士課程				
経歴	1993年千葉県立衛生短期大学講師、2003年聖路加看護大学助手、2005年埼玉県立大学保健医療福祉学部講師、2018年同大学准教授				
所属学会（役職）	日本小児看護学会、日本看護科学学会、日本小児保健学会、日本子ども虐待防止学会				

【2023年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名
1	小児医療施設の看護過程にセルフケア理論を取り入れた教育介入の質的な効果検証	共著	あり		日本小児看護学会誌、64(32)、150-158	望月浩江、添田啓子、田村佳士枝、櫻井育穂、辻本健、瀧田浩平、平田美佳、近藤美和子、中田尚子
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	小児集中治療の場で看護師が捉えること ものの力の見えづらさとこどもの力を引き出す支援	共同		日本小児看護学会第35回学術集会	○望月浩江、添田啓子、田村佳士枝	2023.7
(4) その他						
	名称	単・共		発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称			研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	日本学術振興会科研費基盤研究◎			骨延長術を受ける子どもの意思決定および術後の取り組みに関わる親の認識	研究代表者：田村佳士枝	2023.4～2024.3
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	小児看護学Ⅱ		1コマ	2年次生を対象に、「手術を受ける子どもと家族の看護」1コマを担当した。低位鎖肛の乳児とその家族の事例を作成し、周手術期の子どもの特徴と看護について概説した。		
2	看護理論		1コマ	大学院前期課程の学生に、大理論の1つとして、オレムのセルフケア不足理論について概説した。		
(2) 演習						
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	小児看護学Ⅲ	○	15コマ	小児事例の看護過程を学習するPBLテュートリアル科目で、全体の運営および3グループを担当した。3事例のうち、1事例を気管支喘息に変更し作成した。シミュレーションにて健康な子どもの生活と入院後の生活がイメージできるように進めた。対面でのグループワークにて課題検討が円滑に実施できたが、発表会は遠隔にて実施した。		

2	小児看護学Ⅳ		15コマ	小児看護後術の修得を目的とし、事前学習にて事例展開した事例の点滴刺入および管理の看護を担当し、事例に即した看護技術の理解および修得を支援した。後半は自己練習期間の指導および技術テストにて評価および振り返りにて技術修得を促進した。
3	子どもと家族のヘルスプロモーション		8コマ	4年次生を対象に子どもと家族のヘルスプロモーションの理解を深めるために、小児専門病院の専門看護師から、事例を提供いただくための調整を行った。授業では3グループ担当し、事例の理解促進とインタビューに向けた質問内容およびまとめの指導を実施した。
4	IPW演習	○	8コマ(2開講)	全学3年生を対象に、各学科学生で構成するグループ演習の準備を行い、10名の担当教員の打ち合わせを実施した。また、評価表を作成し妥当性を確認した。対面での演習実施に向けてオリエンテーションやグループワークの進捗把握、発表会に向けた支援を実施した。学生の事前・事後の自己評価をとりまとめ、IPWの能力修得の成果を確認した。
5	卒業研究拡大ゼミ		8コマ	小児看護学領域の卒研担当学生と教員が参加してオンラインで開催した。研究の進捗状況に沿って、研究テーマ、目的、方法や結果について、2回に渡って開催し、意見交換をとおして、研究推進を支援した。

(3) 実習

	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	小児看護学実習		学外実習：10週間	3年生26名を5クール10週間にわたり担当した。臨地での2週間実習で受け持ち児を中心に看護展開を実施した。臨床講義を調整し、対象理解を進めた。3施設で安全面と感染対策を徹底し、安全に実習を行うことができた。

(4) 論文指導

	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2023.4～2024.1	主指導	3名 副指導 名

(5) その他

	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	該当なし		

4. 社会貢献活動

(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師

	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	オープンカレッジ 専門職スキルアップ講座 臨床家のための看護研究セミナー	埼玉県立大学	県内施設で勤務されている看護師の研究活動を支援することを目的に、4回のミニ講座と参加者の研究を題材としたグループ討議を実施した。	2023.6～ 2023.12
2	オープンカレッジ講座「からだ」のおはなし会	埼玉県立大学	近隣在住の5歳前後のお子様と保護者を対象に、紙芝居を使って食べ物の通り道のはたらきを知るおはなし会を開催した。	2023.8
3	高校出張講座	埼玉県立大学	高校への出張講座で、2開講の模擬講義で「治療・検査・処置を受ける子どもの心の準備」を実施した。	2023.9

(2) 国、自治体、学術団体等における委員等

	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期
1	子ども家庭庁成育局母子保健課	成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業 事前評価委員会委員、中間・事後評価委員会委員	2023.6～2025.3

(3) ジャーナリズムでの発言

	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		

(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	学生支援	県立病院自己推薦者への支援として、キャリアセンターにおける面接対策講座に参加し、面接対策の助言を実施した。		2024.3
2	学生支援	担任学年の3回の就職支援ガイダンスの計画・実施に参画し係を担当した。		2023.4～2024.3
3	大学広報活動	オープンキャンパスにおける学科の学生相談を担当し、在学生の調整および当日の運営を実施した。		2023.8
4	学生支援	編入3年生の担任として、ガイダンスの履修登録支援や個別面談を実施し、学習および生活面の支援を行った。1月には学生主体の集合日を設け、相互の親睦を深めた。		2023.4～2024.3
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			